

教員研修専門部会

【プロジェクト名】特別支援教育・教育相談の教員研修に関連する事業—②

1 プロジェクトの目的・概要

本事業②は令和元年度から「気になる子供や保護者の理解と援助プログラム」として実施している。平成30年度まで実施していた「養護教諭等教育相談力向上研修プログラム」の対象を拡大した事業である。

講義と事例検討会から構成され、実施時間は1回2時間を基本としている。前半が教育場面でも広く援用されている家族療法のいくつかのキーワードについて理解を深める講義で、後半が家族療法に依拠した事例検討である。例年検討してきた事例は、機能不全家族のケースや、精神疾患へのケアが必要な事例、発達障害への配慮が求められる事例など、保護者との連携も含め幅広い。

しかし一昨年度及び昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止とICT活用推進の観点から、模擬クライアントとのカウンセリング場面のデモンストレーション動画及び、講義動画を作成し、動画共有サービスを用いて配信するという方法を採用した。

2 令和3年度の実施実績

理論編2本、技法編2本の動画コンテンツを作成した。それぞれ15分程度の動画である。

これらの動画は特に、児童生徒と家族を切り離さずまとまりをもって支援する家族療法の視点から構成されている。

理論編は、1本目で家族の歴史や家族関係や家族内コミュニケーションに着目するポイントを解説し、2本目で様々な心理的問題に対する家族療法的問題観・解決観・人間観を解説した。

技法編は、他者の家族という異文化にいかにかコミットしていくかに関する技法であるジョイニングについて1本目で解説し、解決に向かうプロセスを支援する技法であるコンプリメントについて2本目で解説した。

理論編		
1	家族の歴史・構造・機能	家族を3つの視点で捉える考え方について解説した。
2	問題の悪循環とその解説	問題を悪循環として捉え変えるポイントを解説した。
技法編		
1	ジョイニング	家族という異文化にコミットする方法を扱った。
2	コンプリメント	悪循環に対し、解決の循環を促進するためのコンプリメント技法について紹介した。

3 令和4年度の実施計画

昨年度作成した事例編、今年度作成した理論編や技法編に続き、今年度も動画コンテンツを作成していく。デフォルメされた短い事例を提示し、それについての見立てと手立ての解説を行う、演習用コンテンツを作成する予定である。

また、例年実施してきた対面でのプログラムも、状況をみながら再開していきたいと考えている。